

2年生の探究活動を総括する「探究成果発表会」が、この2月から3月にかけて実施されました。

普通科「総合的な探究の時間」・総合科学科「課題研究」で、計54班が授業を通して取り組んだ探究成果を発表し、互いに評価し合う機会となりました。

## (1) 2月14日普通科分科会・3月3日総合科学科分科会

普通科は4つの分科会、総合科学科は1つの分科会で相互発表および評価を行いました。いずれの分科会においても、工夫を凝らしたポスター発表や、その発表を熱心に聞く姿が印象的でした。防災分科会の此松昌彦教授（和歌山大学教育学部）からは「研究をここで終えるのではなく、来年度の生徒にも、ぜひ、継続して進めていってほしいものです。」との助言をいただきました。



### 分科会上位2班

- 地域と文化 A02 班 クエを食ったら他の魚はクエン！
- 地域と文化 A05 班 和歌山弁を普段から使っているみなさん!!  
この和歌山弁を知っていますか？
- 地域と産業 A03 班 食品ロスについて
- 地域と産業 B03 班 クジラ産業の促進
- 地域と防災 B02 班 自分たちのオリジナルマップを作ろう
- 地域と防災 B05 班 災害時に役立つ知識をつけよう！
- 国際社会と地域 A04 班 猿でもわかるチョークのヤバサ！
- 国際社会と地域 B03 班 ジェンダー問題の解消しない日本
- 自然科学 数学 01 班 石取りゲームの必勝法
- 自然科学 生物 02 班 ジャンボタニシほいほい

## (2) 3月15日全体会

全体会には本校1・2年生および附属中学校2年生に加え、県内2つの高校からも参加がありました。

ステージ発表部門には英語発表や動画パートもあり、時間経過に伴って質疑応答も活発になっていきました。

ポスター発表部門には各分科会から選出された10グループと、和歌山北高等学校1グループ、和歌山信愛高等学校2グループの13グループが体育館で発表を行いました。同時間帯では教室棟においても44グループが交代制で発表・参観しています。多種多様な切り口と方向性をもって取り組んだ探究成果が披露された1日となりました。



また、審査・講評には和歌山県教育委員会より岡野恵子指導主事、崎山智昭指導主事をお迎えし、最優秀および優秀ポスター発表を決定していただきました。

### 最優秀 自然科学分野・生物 02 班 「ジャンボタニシほいほい」

優秀 国際社会と地域分野・A04 班 「猿でもわかるチョークのヤバサ！」

優秀 地域と防災分野・B05 班 「災害時に役立つ知識をつけよう！」



最優秀受賞の生物02班のみなさん▶